

**製品名: APG5L/ATG5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86454**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:55 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APG5L/ATG5
別名	ASP; APG5; APG5L; hAPG5; SCAR25; APG5-LIKE
遺伝子 ID	9474
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	ヒト APG5L/ATG5 の合成ペプチド

**背景**

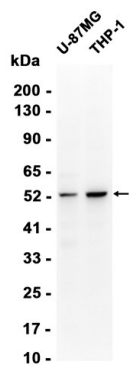
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、オートファジータンパク質 12 と結合して、ユビキチン様結合システムにおいて E1

様活性化酵素として機能します。コードされるタンパク質は、オートファジー小胞の形成、酸化損傷後のミトコンドリアの品質管理、自然抗ウイルス免疫応答の負の調節、リンパ球の発達と増殖、MHC II 抗原提示、脂肪細胞の分化、アポトーシスなど、いくつかの細胞プロセスに関与しています。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2015年9月]

## 研究分野

-

## 画像データ



APG5L/ATG5 ウサギモノクローナル抗体を 1:500 で使用して、U-87MG、THP-1 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。